

# 一般質問

## 植條 敬介 議員 市民グループ未来の会



### 中小企業支援センター 設置への取り組みは

**Q** これまでにも創業支援に取り組んできたが、中小企業や創業・起業者に光を当て、より輝けるように応援し、悩みや課題の解決をサポートする施設として、四国で初めてとなる支援センター「Biz」を設置する考えは。

**A** 「Biz」とは、全国20力所の自治体で展開されている中小企業や創業希望者の支援相談窓口です。四国ではまだ実施例がありませんが、Bizモデルと呼ばれる支援体制には、従来の相談機関とは異なる特徴があり、各地で非常に高い支援実績が得られていると伺っています。Bizが提供する支援機能は、人材や資金に課題を抱える地方の中小企業が最も必要とする支援でありながら、従来の支援機関では十分に対応しきれていなかったものであります。

本市においては、そうした外部人材の力も借りながら、その機能を補完するため、Bizの実施に向けた検討を行ってまいります。

(市長)

## 市立病院の地方公営企業法 全部適用後の状況は

**Q** これまで市長にあった組織や人事などについての権限が、病院事業管理者に移行することで、公営企業としての独立性が強化され、今まで以上に病院経営に必要な効率的で効果的な取り組みが可能になったが、移行したことによるメリットなど、どのような変化があったのか。

**A** 全部適用の一番の目的は職員の確保、特に国家資格を必要とする各種医療職の確保にあり、職員採用を病院独自で迅速かつ柔軟に行えることにより、必要数を確保し、最近特に加速化している医療環境の変化にも対応できるように、努力しているところです。

また、薬品や診療材料、医療機器購入等の契約、会計事務についても病院内で完結できるようになり、より迅速な処理が可能となりました。全部適用後、より一層企業性を発揮し、病院の健全経営を持続していくことが重要であると認識しています。

(病院事業管理者)

質問の項目  
・ 健康のまちづくりについて  
・ 質主・空家等対策計画について

## 若谷 修治 議員 市民グループ未来の会



### 緊急避難場所、避難所に指定 されている施設等で防災キャン プを行ってみたいかどうか

**Q** 子供の発信力で、未来につなげる地域の輪、防災の輪が完成すると考える。楽しく防災を学び、災害時の料理や宿泊などを体験できる、親子参加型防災キャンプを市全体に広めてはどうか。

**A** 教育委員会では、令和元年9月に市内小学生の親子もしくは小学4年生以上は友達2名以上のグループを対象に、交流の里 おうごしの体育館で防災と自然観察を目的としたキャンプを実施しました。

防災クイズや実験による学習、自分たちが宿泊する段ボールハウスの作成、防災食を自ら作り食することといった体験などを行い、参加者からは防災について学ぶ良い機会となった、今後も防災キャンプがあれば参加したいなどの声もいただきました。

現在、地元の王越町共に生きるまちづくり推進協議会と交流の里 おうごしの施設を拠点とした体験メニューのひとつとして提供できるよう協議を進めており、各地区でも実施していただけるよう働きかけていきたいと考えています。

(教育部長)

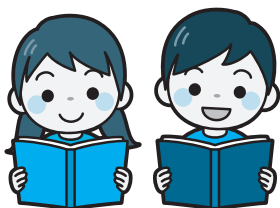
## 学校図書支援員を増員配置し、 中学校図書館の環境改善を 図ってはどうか

**Q** 子供の読書は言葉を学び、表現力を高め、想像力を豊かにし、人生をより深く生きる力を身につける上で極めて重要である。中学校図書館の整備とデータ管理等、環境改善を図るため図書支援員を増員し、小・中学校と画一的な学校図書館の管理をしてはどうか。

**A** 現在、市内中学校においては、学校図書支援員の配置ができておりません。全国学力・学習状況調査では、学校司書が配置されている学校のほうが児童生徒の読書量が多いこと等が確認されており、図書館の整備充実が学力の向上も含め、生きる力につながるものです。

教育委員会としては、平成26年の学校図書館法の改正により、学校司書が法令に位置付けられたことから、学校司書の配置の促進と環境整備に努めてまいります。

(教育部長)



質問の項目  
・ 家庭教育について